

雲仙岳

概況

19日に普賢岳方向が僅かに上がるような傾斜変動を伴う火山性微動を観測し、普賢岳山体直下の地震が一時的に増えましたが、火山活動に大きな変化は認められませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は、白色少量で日最高高度は10～50mでした(図1)。

地震活動の状況

4月にはA型地震を26回観測し、そのうち19日には傾斜変動を伴う火山性微動とともに22回多発しました(図2)。この地震の震源は、普賢岳山体直下でした(図8)。B型地震の発生はありませんでした(3月1回)。火山性微動は2回観測しました。

落石による震動を2回観測しました。

地殻変動活動の状況

・傾斜観測

傾斜変動を19日に1回観測しました。これは、19日11時42分に発生した火山性微動に伴うもので普賢岳方向が僅かに上がるような変動でした(図6、図7)。噴煙等表面現象には、特に変化はありませんでした。

傾斜変動を観測したのは、2000年3月28日以来です。

・GPS観測

GPSによる地殻変動観測では、雲仙岳測候所 - 田代原、雲仙岳測候所 - 垂木台地、田代原 - 垂木台地の各観測点間の3つの基線長に変化は見られませんでした(図9)。

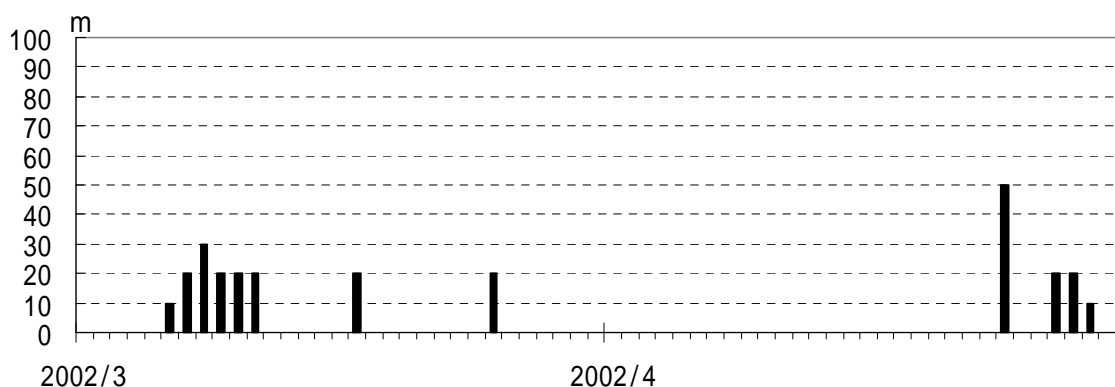


図1 日別最高噴煙高度(2002年3月1日～4月30日)

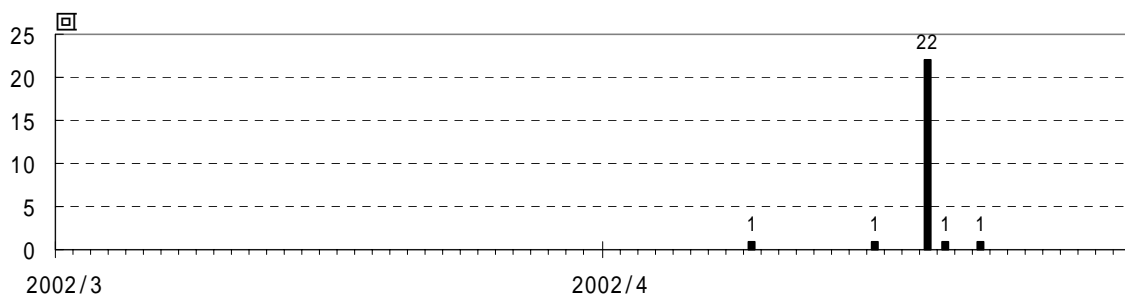


図2 A型地震日別回数(2002年3月1日~4月30日)

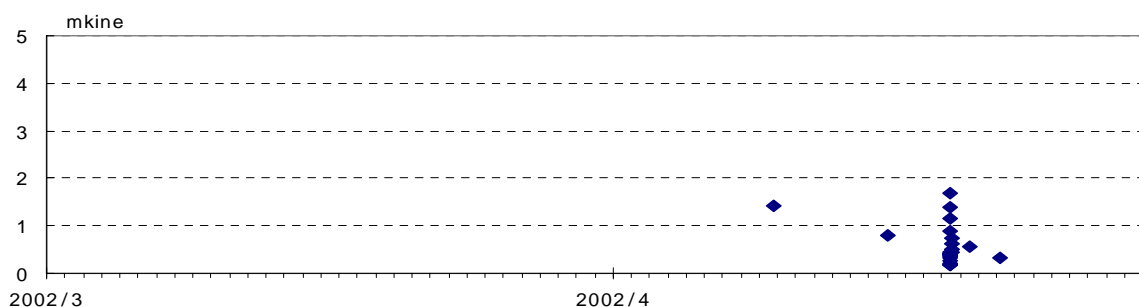


図3 A型地震の振幅の時系列変化(2002年3月1日~4月30日)

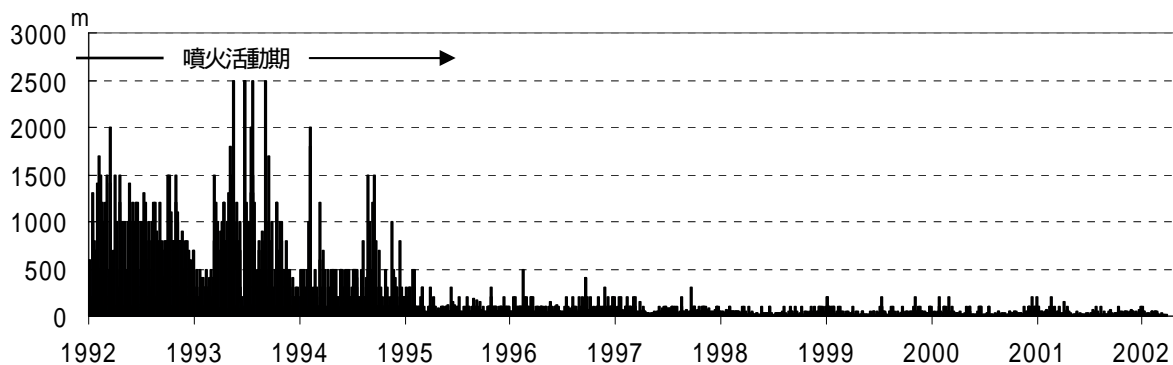


図4 日最高噴煙高度(1992年1月1日~2002年4月30日)

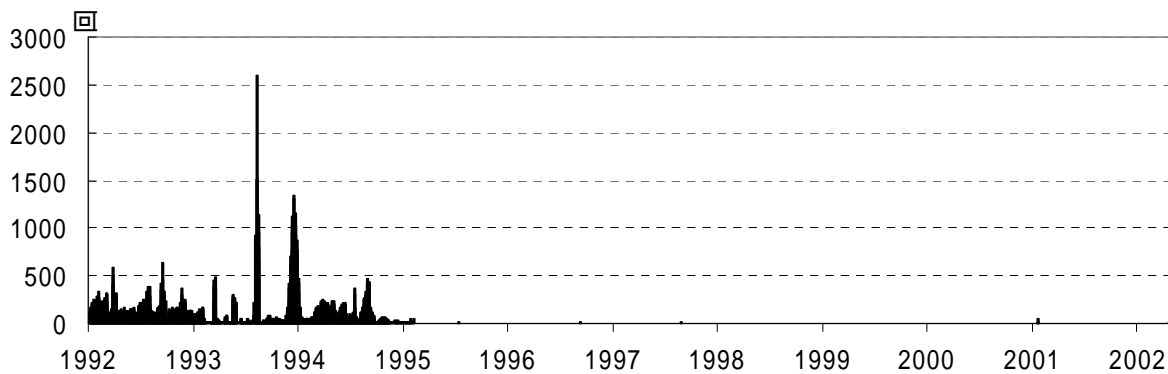


図5 火山性地震日別回数(1992年1月1日~2002年4月30日)

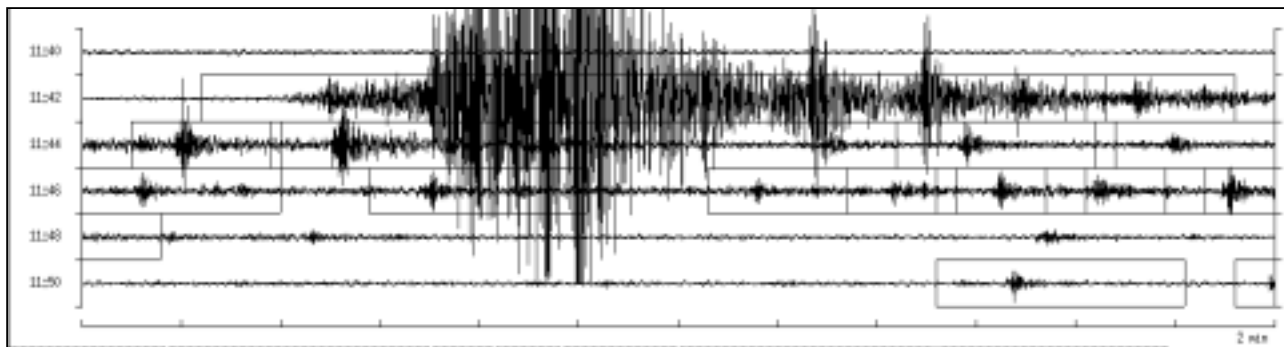


図6 19日の傾斜変動を伴う火山性微動波形とA型地震波形

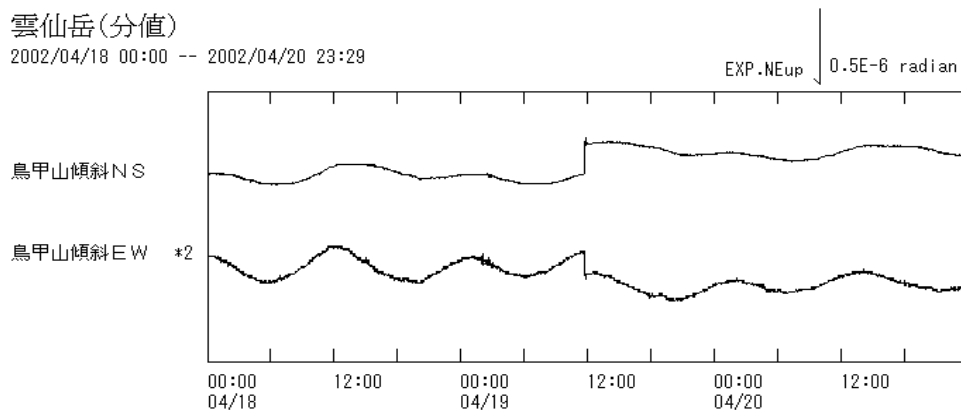


図7 19日のB点傾斜変動時系列図

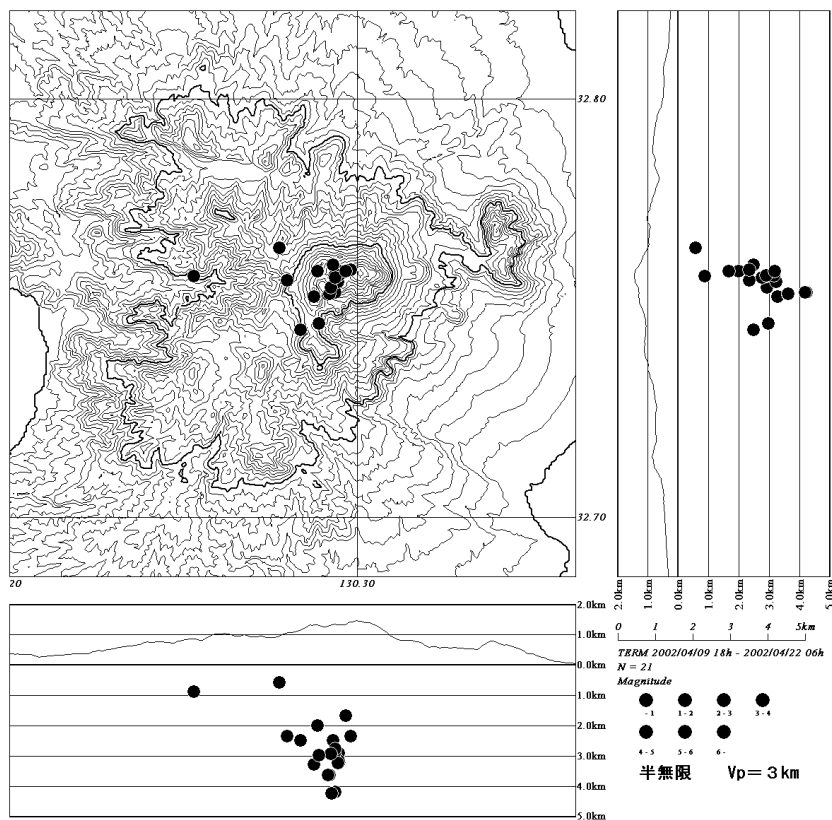
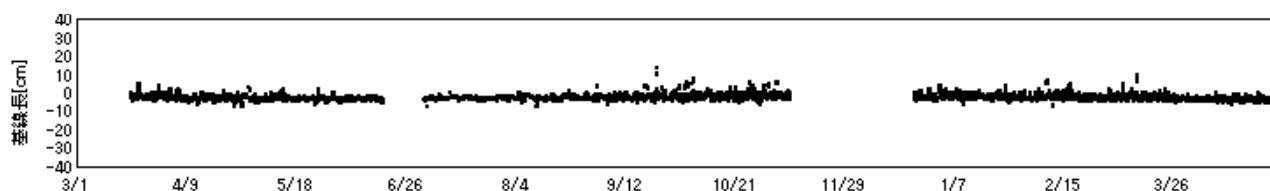
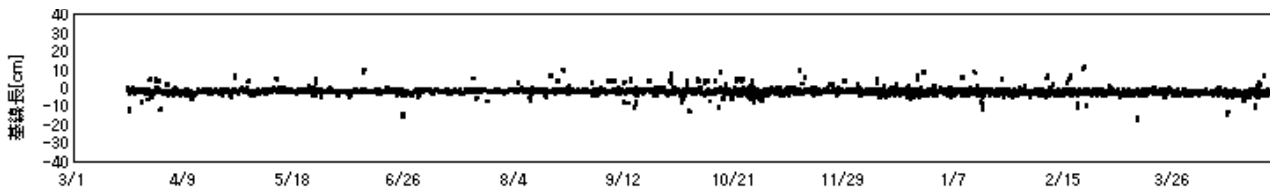


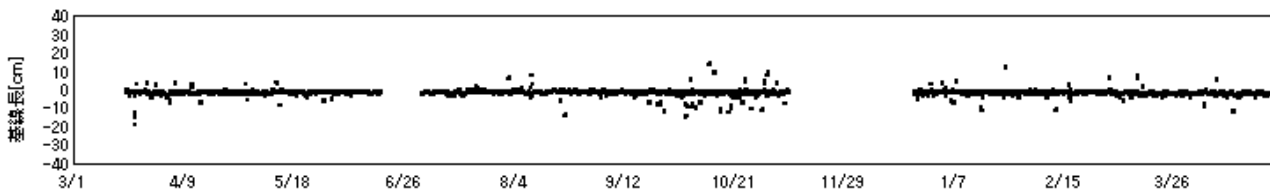
図8 震源分布図((2002年3月1日~4月30日)



雲仙岳測候所 - 田代原の基線長グラフ (2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 4 月 30 日)



雲仙岳測候所 - 垂木台地の基線長グラフ (2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 4 月 30 日)



田代原 - 垂木台地の基線長グラフ (2001 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 4 月 30 日)

図9 GPSによる基線長グラフ

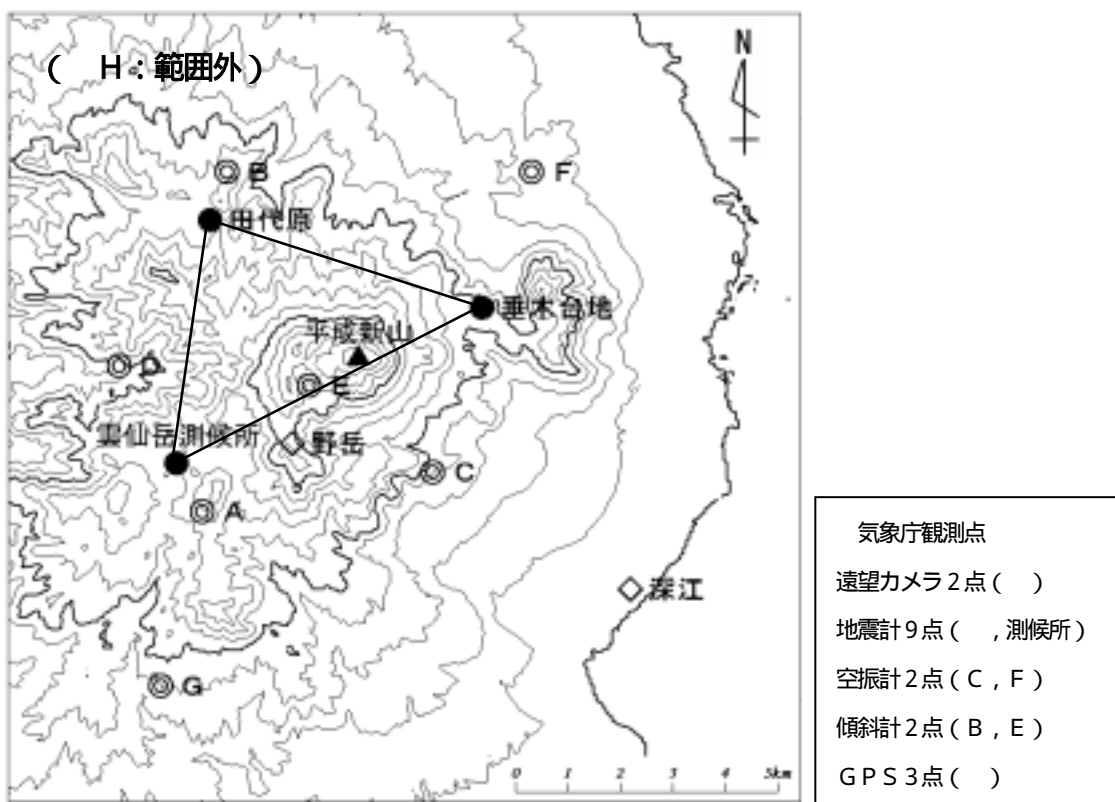


図10 観測点位置図